

霜月 愛南文芸

篠南川柳会

「笑」

やぶ医者の薬より効く大笑い
腹の中見られるように笑ってる
一目惚れ昔の笑くぼは皺に化け

さつき
芝田
安子

「昭和」

不便さも便利さも知る昭和っ娘
懐かしい昭和の匂いふかし芋
昭和生れ米寿卒寿と長生きし
まだ動く昭和一ケタ貴重品
白黒のテレビに夢中昭和の子
昭和には父母と一緒に忘れられぬ

木本
千代子
すみ子
もっちゃん
保美
ちずる

「暑い」

菊川俳句会

去年より今年の夏は暑かった
名月や足高らかに四股三つ
好物の無花果供え亡母偲ぶ
山道の秋の七草さみしげに

みち子
浅野勇一郎
長田 高明
長田千恵美

はじめまして。赤ちゃん。

9月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

ご冥福をお祈りします。

9月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	享年
-----	--------	----

さわらび短歌会

人見知り始めし嬰や秋桜
名残月手水縁より出でて消ゆ
決めかねる旅の計画鱗雲
曼珠沙華案山子と競い畦飾る
アクセルを踏み込み秋へ加速する

小野山シマ子
鶴川 裕子
中川 一喜
西川 和代
村尾和都子
安岡留美子

ひんやりと秋の気ただよふこの朝庭の木犀白く咲き初む
薔薇の湯に浸りて花をたぐり寄せ思いにふけるうら若き人
柔らかに洗濯物の乾きたり秋の陽の香のこもりて軽し
暗き夢に目覚めし日なり種をまき庭草取りてひたすら過ごす
この夏の猛暑凌ぎし苦瓜の小さき実の付く棚を外しぬ
真つ白な駝鳥の卵に似て非なる毒茸蹴る高き秋空へ
外に出ればはや夕闇の迫りくる夫と猫待つ家路を急ぐ
「もう少し生きられればよかったね」曾孫生れし日の亡夫との会話
諍いを国会の常とし解散へ蚊帳の外におかれし民意
篠川の清らかな水で小学生の育てし新米を味わい食みぬ
最先端の技術駆使せし体内映像ミクロの世界のテレビに見入る

前田 知子
野崎 幸子
澤近 正弘
水野美代子
岩村千代子
藤井 擴
河上 明美
前田 充
前田 昭夫
扇野八代生
松本マス子

※上記情報は、広報誌掲載に対して、ご家族等に同意をいただいております。